

カマキリ



なまえ ゆらい かま き かまき せつ
名前の由来については、「鎌で切る」から「鎌切り」となったという説と、「カ
マキリ」は、「鎌をもつキリギリス」の意味であるという説とがある。6本の脚の
かま い み ほん あし
うち、前脚は先端を除く大半が鎌状に変化し、多数の棘がある。頭部は逆三角形
まえあし せんたん のぞ たいはん かまじょう へんか たすう とげ こうぶ ぎやくさんかくけい
で、2つの複眼と大あごが発達する。前胸は長く、頭部と前胸の境目は柔らかい
ふくがん はったつ まえむね なが さかいめ やわ
ため、頭部だけを広角に動かすことができる。触覚は毛髪状で細長く、中脚と
こうかく うご しょうかく もうはつじょう ほそなが なかあし
後脚も細長い。食性は肉食性で、自身より小さい昆虫や小動物を捕食する
うしろあし しょうせい にくしょうせい じしん ちい こんちゅう しょうどうぶつ ほしょう
が、大きさによってはスズメバチやキリギリス、ショウリョウバッタ、オニヤン
など おおがたにくしょうこんちゅう
マ等の大型肉食昆虫やヘビ、クモ、カエル、トカゲ、ミミズなど昆虫以外の小
動物を捕食することもある。また、獲物が少ない環境では共食いすることもある。
えもの すく かんきょう ともぐ

した しゃしん だっぴ ぬ かわ お
下の写真は、脱皮したてのカマキリ。脱いだ皮が落ちている。